

受付No.

2026年度 アートによる地域振興助成（一般）

公益財団法人 福武財団 理事長 福武英明殿

募集要項に則り、本応募用紙に記載した通り、標記助成に応募いたします。

<団体プロフィール>

団体名	逗子アートネットワーク				
住所	〒249-0007 神奈川県逗子市新宿1-5-14				
団体区分	任意団体	スタッフ数	20 名		
代表者氏名 (カナ)	ナガシマ ゲン	役職	共同代表	年代	40代後半
代表者氏名	長島 源				
団体URL1	https://www.zushi-art.com/				
団体URL2	https://www.city.zushi.kanagawa.jp/shiminkatsudo/1009632/1010934/1004486.html				

<申請者・実務担当者> ※団体所在地と同じ場合は「同上」*申請者には、助成に関する諸手続きの連絡担当者の名前を記入してください。

申請者氏名 (カナ)	トイ タカヒサ	役職	事務局・広報担当	年代	20代後半
申請者氏名	戸井 貴久				
連絡先 e-mail	zafkouhou@gmail.com	電話番号	080-3527-0415		
住所 (書類の送付先)	〒249-8686 神奈川県逗子市逗子5-2-16 文化スポーツ課 逗子アートフェスティバル実行委員会				

<プロジェクトリーダーの略歴> ※アートプロジェクト等の運営経験や当時の役割を記載してください。

氏名 (カナ)	ナガシマ ゲン	役職/肩書	逗子アートネットワーク共同代表 / CINEMA CAERAVAN・ シネマミーゴ館長	年代	40代後半
氏名	長島 源				
年 (西暦) 月	略歴 (活動内容)				
2009年8月	文化複合施設CINEMA AMIGO立ち上げ				
2010年5月	逗子海岸映画祭・クリエイター集団CINEMA CAERAVAN立ち上げ				
2013年10月	第一回 逗子アートフェスティバルに逗子海岸映画祭として参加				
2013年9月	SanSebastian国際映画祭(スペイン)にCINEMA CARAVANメンバーとして参加				
2014年3月	"いちばらアート×ミックス"にCINEMA CARAVANメンバーとして参加				
2015年7月	大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレにCINEMA CARAVANメンバーとして参加				
2017年10月	逗子アートフェスティバルの企画として「池子の森の音楽祭」をプロデュース				
2018年4月	逗子アートネットワーク立ち上げ共同代表となる				
2022年6月	ドイツカッセル国際芸術祭"documenta15"にCINEMA CARAVANメンバーとして参加				
2023年5月	六本木アートナイトのメインプログラムにCINEMA CARAVANメンバーとして参加				

<福武財団の助成実績>

助成を受けて活動した年度

<外部協力者の状況>

氏名	年代	組織名	所在地 (市町村まで)	協力内容 (できるだけ具体的に)
墨屋宏明	50代前半	NPOルトカル チャー 理事	神奈川県鎌倉市	逗子アートフェスティバル 総合プロデューサー・ディレクター 招聘アーティスト企画/ZAF全体の魅力向上
坂本秀文	40代後半	逗子市役所 文 化スポーツ課	神奈川県逗子市	共催である逗子市の文化スポーツ課長
菊池尚	60代前半	逗子菊池タクシ 株式会社	神奈川県逗子市	逗子アートフェスティバル 実行委員長 地域の民間企業代表として主催者の立場で参画
芹沢高志	70代	P3 art and environment	東京都新宿区	海洋人類文化を伝えるコンセプトで R.バックミンスターフラーの大型石版画「テラスロール」ほか模型作品の協力
マイクラおかん (下崎真世)	50代前半	CoCororap	神奈川県逗子市	よりよく生きる人が増えていくことを目指し、多様な人々にラブ表現を伝えるプロジェクトの協力

<活動内容・事業計画について>

表現手法	地域型芸術祭
活動テーマ	街中（の地域振興）
事業名	逗子アートフェスティバル2026
2026年度の活動期間	2026/10/03 ～ 2026/10/25
活動に従事するスタッフ数	20名

1. 団体の活動の概要

<p>逗子アートフェスティバル（ZAF）は、市内全域を舞台に展示・音楽・体験型イベントを展開する市民参加型の芸術祭です。公園や旧逗子高校舎、商店街など多様な空間で現代アートの展示やワークショップが行われ、子どもから大人まで創作活動に参加。特に、米軍と共同使用している池子の森自然公園を主会場の一つとし、普段は立ち入りに限られる場所をアートで開放する点が特徴です。観るだけでなく「まち全体でつくり、楽しむ」ことを重視し、逗子の自然と文化を生かした体験型アートフェスティバルとして発展しています。</p>
--

2. これまでの活動の沿革

申請事業の活動年数	7～10年
年（西暦） 月	活動内容
2018年10月	逗子アートフェスティバル2018
2019年10月	逗子アートフェスティバル2019
2020年10月	逗子アートフェスティバル2020（3年に一度の大規模開催トリエンナーレ）
2021年10月	逗子アートフェスティバル2021
2022年10月	逗子アートフェスティバル2022
2023年10月	逗子アートフェスティバル2023（3年に一度の大規模開催トリエンナーレ）
2024年10月	逗子アートフェスティバル2024
2025年10月	逗子アートフェスティバル2025

3. 活動エリアについて

活動エリア	神奈川県 逗子市
活動エリアの特色（歴史、文化、地域性、魅力など）	<p>逗子市は神奈川県のある葉山の間位置し、海と山に抱かれた自然豊かなまちである。小坪地域は漁業の拠点として栄え、逗子マリーナの風景との対比が魅力である。沼間地区には古道や寺社が今も静かに佇み、池子の森は元米軍住宅地としての歴史をもち、市民の公園として一部が解放されている。別荘文化の名残や商店街も生活を支え、写真家・森山大道やシネマキャラバン＆栗林隆（ドクメンタ15）など、国際的に活躍するアーティストが地域に根ざし創造活動を展開している。自然・歴史・文化が響き合う逗子は、芸術発信の土壌として息づくまちである。</p>
活動エリアの課題（まず初めに、活動エリアにおける課題を簡潔にご記載ください。続けて、その課題の背景や詳細について、できるだけ具体的にご記入ください。）	<p>逗子市では、人口減少や高齢化、地域のつながりの希薄化が進む中で、自然や文化を活かした持続的なまちのあり方が問われている。東京のベッドタウンとして通勤に依存する生活者も多く、地域での交流や新しい活動が生まれているが、さらにつなげていく必要がある。観光と日常生活の調和や、海水浴シーズン以外の賑わいを地域から生み出す努力も必要である。また、元米軍住宅地の池子の森の歴史と自然環境を知り、未来にどう育むかも問われている。世代や立場を超えて想像力を育み、支え合える関係づくりが、今後の逗子に求められている。</p>
貴団体の地域に対するミッション（活動の目的）	<p>逗子アートフェスティバルは、逗子市文化振興基本計画に掲げる「地域の文化を市民の手で拓く」を実現する事業である。テーマは「地域に住むすべての人が、地域社会で、共に学び、共に育つ＝共育」であり、芸術文化活動による地域の活性化を目指している。アートを介して多様な人々がつながり、世代や立場を超えて協働することで、創造的で自立した地域コミュニティを形成する。また、まち全体を舞台にしたアートプロジェクトを通じて、逗子の魅力を内外に発信し、交流や移住を促す循環型のまちづくりを推進するものである。</p>

7. 2026年度のプロジェク評価の観点や指標をどのように設定しますか。

定性（状態的な目標）、定量（数値的目標）をお書きください。

以下の指標を設定し、プロジェクトを客観的に振り返り、次の施策に活かしていけるようにする。

- ・来場者数 目標25,000人（前回2023年トリエンナーレ時は20,000人） うち市内60%、市外40%
- ・参加企画数40組・アーティスト数50組
- ・転入者数を増加傾向にする（子育て・現役世代）
- ・人口推移の減少傾向を弱めていく
- ・来場者アンケート 満足度 80%以上
- ・広報掲載実績 地域メディアは掲載が多数実施できているため、域外メディア、アートメディアへの露出を増加させる
- ・主要会場となり得る協力者の開拓と増加

8. 2026年度の翌年以降の、地域に持続的に関わる中期計画と将来ビジョンをお書きください。

※一般申請者は、その計画・ビジョンの展開がこれまでの活動の積み重なりどのように紐づいているかと、その展開に事業や運営体制をどのように反映していくかについてもお書きください。

〔地域に持続的に関わる中期計画〕としては、2024年度（令和6年度）から2030年度（令和12年度）までの7年間を計画期間とする逗子市文化振興基本計画に即し、逗子アートフェスティバルのより一層の充実を図り、産官学の連携強化や文化芸術に接する機会の拡充、地域にある文化資源の活用に努めていく。

〔将来ビジョン〕としては、逗子市文化振興基本計画における取り組みの方向にあるように、逗子の伝統文化を継承するとともに、潜在的な文化資源を掘り起こして、地域の文化を市民の手で拓き、互いを高め合い、育むことで、「まちが文化を活かし、文化がまちを活かす」地盤をつくっていく。また、逗子の多彩な文化資源と恵まれた自然環境を背景に生まれる、個性的で創造的な文化芸術の力で、文化と自然がつむぐ活力あるまち（地域社会）の発展をめざす。

2018年度（平成25年度）の『プレ・アートフェスティバル』から開始した『逗子アートフェスティバル』は、2018年（平成30年）から地域の文化芸術に関わる市民で構成する「逗子アートネットワーク」による運営となり、逗子市との協働により実施しているものであり、地域文化の担い手育成や市民の文化活動の活性化につながる事業として定着している。

「逗子アートネットワーク」は、日ごろからミーティングを重ね、メンバー同士のコミュニケーションを図りながらアートフェスティバルの企画・運営の検討を行っている。市民による自主的かつ主体的な文化活動が行える環境づくりを目指し、青少年や若年層の活力を積極的に取り入れながら、世代間交流がうまれるような仕組みづくりを進めていく。

9. 2026年度以降、複数年の助成を希望していますか？

はい

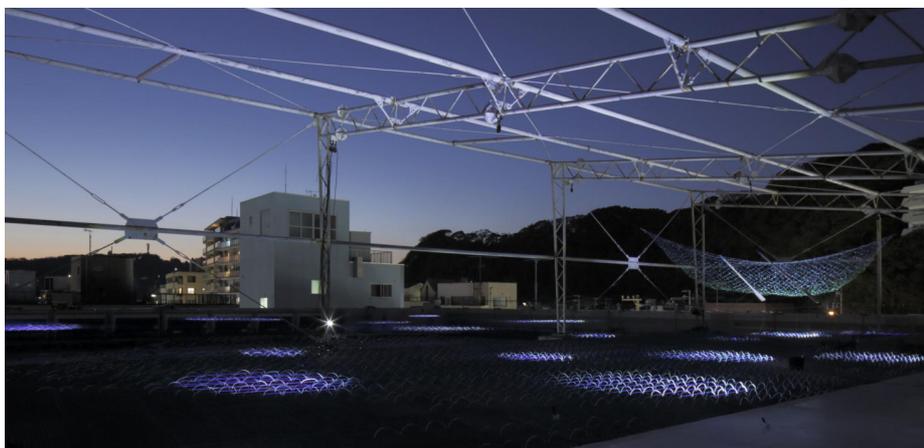
<活動の様子>



市民主体の障がいの有無や世代を超えて共に創る「みんなでアート」プロジェクトの様子（2025）



米軍と共同使用する池子の森自然公園での「池子の森の音楽祭」（2024）



松澤有子による菊池ビル屋上の大型インスタレーション（2018）

< 収支内訳書 >

申請助成金額	3000千円
--------	--------

福武財団助成金の支出内訳

項目	内容	金額 (千円)	備考
謝金・委託費・人件費	展示プログラム 参加アーティスト・団体への謝金	3000千円	招聘5名程度 交通費込み
合計		3000千円	

事業全体の収支内訳

< 収入 >

項目	内容	金額	備考 (詳細)
助成金	福武財団	3000千円	
助成金	文化庁文化芸術想像拠点形成事業費	14900千円	2026年度予算 2025年1月申請予定
自己資金	逗子市文化事業費	3000千円	2026年4月交付予定
事業収入	池子の森音楽祭 事業収入	4000千円	
合計		24900千円	

< 支出 >

項目	内容	金額	備考 (内容)
助成金	福武財団	3000千円	
謝金・委託費・人件費	展示プログラム 参加アーティスト・団体への謝金	6000千円	招聘1名程度、市民公券30組程度 交通費込み
広報宣伝費	広報物制作費	4000千円	チラシ、ウェブ、動画、SNS
謝金・委託費・人件費	池子音楽祭 参加音楽家・PA団体への謝金	5000千円	出演アーティスト15組程度
謝金・委託費・人件費	池子音楽祭 設営費	1200千円	ステージ・テントなど
消耗品費	消耗品費	100千円	
謝金・委託費・人件費	展示壁、照明など共通制作費	1000千円	
会場費・借料	展示会場費	1000千円	市の施設以外での支出を想定
謝金・委託費・人件費	シャトルバス運営	1600千円	
謝金・委託費・人件費	会場警備・運営スタッフ	2000千円	
合計		24900千円	

< 助成金対象外の項目例 >

以下のものは、助成対象外となります。ご注意ください。

■管理費となるもの

- ・事務所の家賃、水道光熱費など
- ・恒常的な組織の人件費(事務局コスト)

■固定資産取得のための支出、及び恒常施設の保守修繕費となるもの

- ・備品、パソコン・コピー機、カメラ・ビデオ機器等、固定資産となるものの購入
- ・事務所、会場などの設備等の保守修繕に対する費用

■助成の趣旨に合わない支出

- ・交通機関を利用する際のグリーン車、ビジネスクラス、高額な宿泊料金
- ・高額な飲食を伴う接待費用

■下記、謝金・委託費・人件費の関わる項目

- ・プロジェクトの活動の外注費が大きい場合や丸投げしている場合
- ・自団体メンバーやプロジェクトリーダーなど申請事業に関わるメンバーへの謝金・委託費・人件費

< 個人情報の取り扱いについて >

申請書に記載いただいた氏名、生年月日、年齢、所属機関名、部署・学部、役職、住所・連絡先、電子メールアドレス、事業協力者、プロジェクトメンバーの氏名、年齢などに関しては「個人情報保護に関する法律」に則り、個人情報として厳正に管理し、下記の目的に限り利用します。

- 1) 申請に対する選考及び選考結果の通知
- 2) 助成決定後の諸手続きの連絡
- 3) Website、広報パンフレット等での助成者決定の公表 (氏名、所属機関、職名、活動等の概要、助成金額)
- 4) 当財団内管理業務 (成果報告、会計報告提出に関連する連絡業務など)
- 5) 当財団主催事業の案内